

キャラクター名
駒井十次

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン モルフェウス		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	傭兵
	オプション		年齢	27	性別	男
覚醒	渴望	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	資産家	経験	秘密	邂逅	同志	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	9
精神	3	0	0			3	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	9		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
特異点	P	N			
テレーズ・ブルム	P	感服	N	不安	
海母紡	P	尽力	N	不安	
	P		N		
	P		N		
	P		N		
	P		N		
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
カスタマイズ	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+lv個							
ハンドレッドガンズ	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	武器を作成。射撃《射撃》命中0 攻撃力+[lv+4] 射程30m ガード値-							
魔弾の悪魔	2	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果:	《ハンドレッドガンズ》射撃判定直後に達成値+10 ハンドレッドガンズで作成した武器使用時のみ適応 シナリオlv回							
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-lv(下限値7)							
コンバットシステム	3	3	メジャー/リアクション	-	-	対決	-	
効果:	《射撃》として扱う。判定ダイス+[lv+1]個							
エクスマキナ	2	4	メジャー/リアクション	-	-	対決	リミット	
効果:	《コンバットシステム》コンバットシステムと組み合わせた判定の達成値を+10 シナリオLv回							
クリスタライズ	3	4	メジャー	-	-	対決	100	
効果:	攻撃力+[lv*3] 装甲無視 シナリオ3回							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【PC解説:3行】
 フィクションの中のカッコイイ大人や正義の味方に憧れ、自分もそういう存在になりたいと思った
 オーヴァードに覚醒するも所属した支部にて実験の失敗作として部隊の尖兵として扱われ、部隊の中心人物として纏め役になるも、支部が壊滅し、チルドレンや
 甥っ子が行方不明になる
 UGNとは別の対オーヴァード組織を作り上げるが、見つかったチルドレン達を保護するために組織を脱退し、現在は保護者として雑務に追われている

【PC解説:簡易】
 ハードボイルド小説とコーヒーを愛し、日々大量の雑務に追われる元UGNの男。

くせっけのある黒髪、顔には濃い隈が目立つ、普段は黒色のベストに藍色のワイシャツ、場合によっては黒いスーツを羽織っている。
 座右の銘を『カッコいい大人として生きる』として、普段から現実を至上として、理想や希望ではなくそこにある事実だけを行動原理として動く。何故か？
 彼がそれをハードボイルドだと思っているから。

元々はUGNエージェントとしてUGNに所属していたが、現在ではUGNイリーガルの組織を結成しており、その組織として動き、UGNとの連携を図っている。
 暇さえあればハードボイルド小説を読み彼の想起する『カッコイイ大人』に近づこうと精進しているが、保護している子供たちに対しては激甘である。彼らから辛辣な言葉を浴びせられることがしばしばあるが、基本的に毎日枕を濡らしている。
 UGNエージェント時代には、コーヒーを飲むことがカッコイイ大人への近道だと本気で思っていた為、好きでもないコーヒーを愛飲していた。ココア好きの同期から本気で心配されていたのは言うまでもない。
 現在では多忙さもあってコーヒーに助けられることがしばしばあり、今ではコーヒーの違いがある程度分かり、旨いと思って飲めるようになっていく。
 本人は行動原理を上記のものとしているが、基本的には自分がそうしたいと思ったことを自分や周囲への影響などを考えずに始めるきらいがある。過去、それによって痛い目に遭う、遭わせることがあり、意識して止めようと考えているが、本質的に困っている人、他者に報いらぬと気が済まない為、大体自分では止められない。